

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業					
予 算 額	10, 500千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	継続 政策的新規充実予算枠			
担 当 課	建設企画部 建設企画課(222-3551)					
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>四季を通じて多くの観光客が訪れるとともに、東山区民の生活の基盤となっている東大路通の東山三条～東山七条間について、現在の道路幅員の中で、歩行者が安心・安全、快適に通行することのできる空間を創出するため、車線数の減少等も含めた道路空間の再構成や無電柱化及びバリアフリー化事業を推進し、「人」が主役の「歩いて楽しい東大路」の整備を推進する。</p>						
<p>[事業概要]</p> <p>東大路通の<u>車線数の減少に伴い交通量が変化する周辺道路への影響を検証する。</u></p>						
<p>[参考 (他都市の状況・事業効果など) ]</p>						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	JR奈良線高速化・複線化第二期事業		
予 算 額	81, 000千円	新規・継続の別	継続
担当課	建設企画部 建設企画課 (222-3551)		

### [事業実施に至る経過・背景など]

京都の縦貫幹線鉄道を構成するJR奈良線については、平成13年3月に第1期事業として、京都～JR藤森、宇治～新田間の複線化が完了し、ダイヤ改正による列車増発やみやこ路快速の運行など、利便性・快適性の向上が図られてきた。

しかしながら、全延長34.7kmのうち26.5kmは単線区間であり、市内の主要な交通結節点であるJR京都駅と京都府南部地域を結ぶ広域鉄道網の充実、並びにJR奈良線沿線住民の利便性の向上を図るため、複線化を更に促進する必要がある。

### [事業概要]

○環境影響評価、鉄道施設の設計及び京都駅改良工事を実施するJR西日本に対し、平成26年度に引き続き、京都府や関係5市町とともに補助金を交付する。

(平成27年度予算額 75,000千円)

1 事業区間：JR藤森駅～宇治駅 9.9km (うち京都市域4.4km)

新田駅～城陽駅 2.1km

山城多賀駅～玉水駅 2.0km

合計 14.0km

2 事業費：平成27年度 520,000千円

(総事業費 36,900,000千円)

3 費用分担：JR西日本 131,000千円 (369分の93)

京都府 194,000千円 (369分の138)

関係6市町 194,000千円 (369分の138)

※京都市補助分：75,000千円

(関係6市町分のうち、38.46%)

※合計は四捨五入の関係で一致しない。

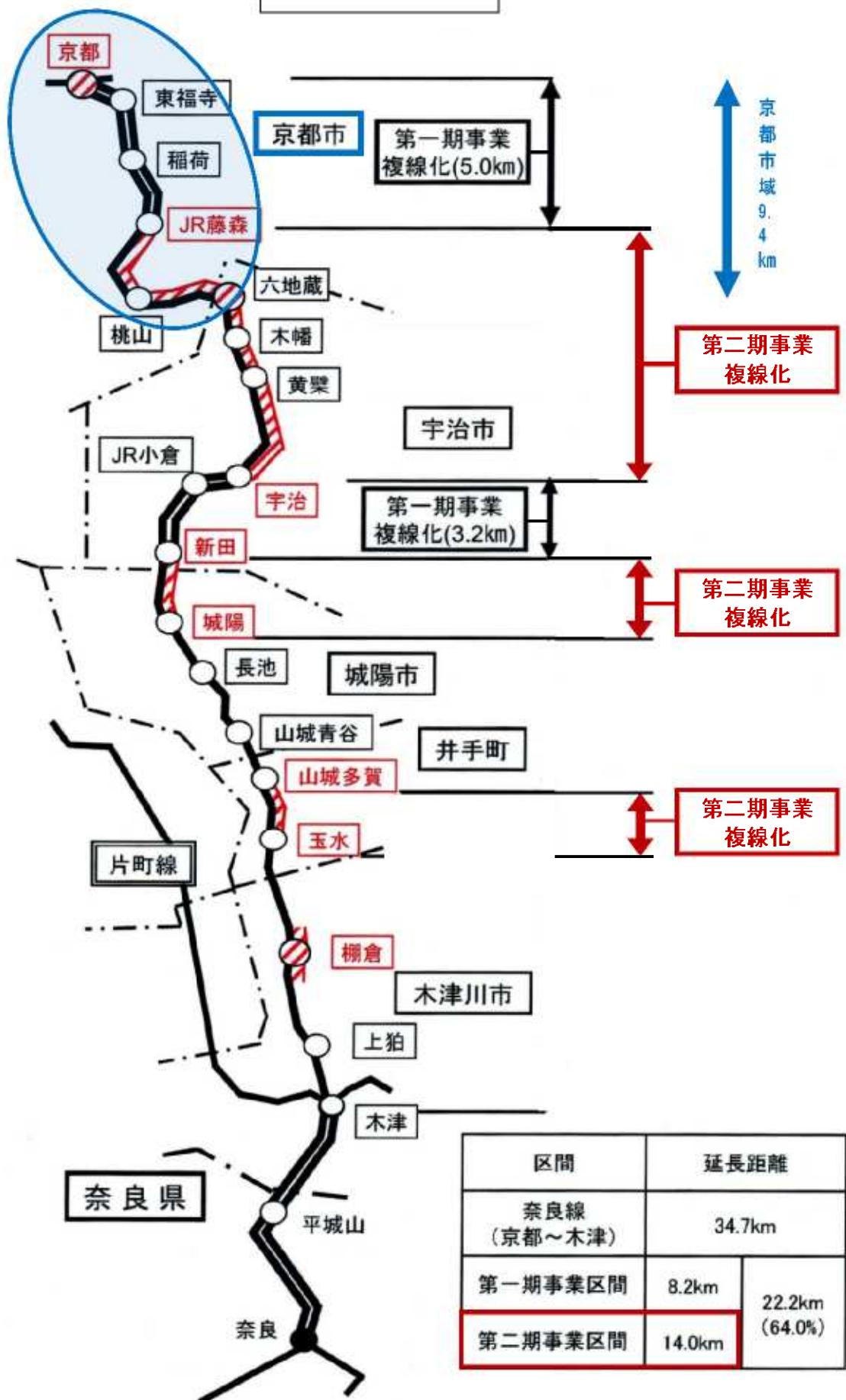
○複線化に伴う踏切改良により整備が必要となる市道の測量及び予備設計を行う。

(平成27年度予算額 6,000千円)

### [参考(他都市の状況・事業効果など)]

(関係5市町) 宇治市、城陽市、木津川市、井手町、宇治田原町

# 路線図



## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 災害防除(道路に面する斜面等の防災対策)					
予 算 額	566,621 千円	新規・継続の別	継続			
担当課	土木管理部 土木管理課 (222-3568)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 東日本大震災や近年多発する局地的集中豪雨等での被害を踏まえ、公共土木施設の防災機能を強化するため、「いのちを守る都市基盤防災・減災プロジェクト」として、道路に面する斜面等の防災対策に取り組んでいる。 これまでに、対策を必要とする560箇所のうち、137箇所について対策を実施している。						
<b>[事業概要]</b> 災害発生時の緊急輸送を円滑かつ確実に行うため、緊急輸送道路に面する斜面等において、防災カルテに基づき、落石、斜面崩壊等の災害を未然に防止する設計、工事を効率的、効果的に進める。						
<b><u>実施箇所 25箇所 (一般国道162号、一般国道367号など)</u></b>						
<b>[参考 (他都市の状況・事業効果など) ]</b> 防災カルテについて 山間部における道路防災対策として、平成8～9年度に災害発生の可能性のある箇所の調査点検を行い、地形や地質、危険度を評価した「防災カルテ」を作成し、平成24、25年度に現地の状況の変化に対応した見直しを行った。(対象:国道162号、国道367号、国道477号など、合計65路線)						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	LED道路照明灯の設置(更新・新設)											
予 算 額	1,698,060 千円	新規・継続の別	継続 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別 政策的新規充実予算枠									
担 当 課	土木管理部 土木管理課 (222-3568)											
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 道路照明灯は、市民が安全で円滑に道路を通行するために必要不可欠なものであり、現在、本市では水銀灯や蛍光灯など約80,000灯の道路照明灯を管理している。 LED道路照明灯については、価格の低下と性能の向上が進んでおり、従来の道路照明灯と比較して、CO <sub>2</sub> 排出量が少なく長寿命化を図ることができる。 市街灯（蛍光灯）については、当初計画（平成31年度完了）を3年前倒し28年度までに、水銀灯については、27年度中にLED化する。												
<b>[事業概要]</b> <u>平成27年度も、引き続き、更なる節電・長寿命化・低炭素化を推進するため、生活道路及び幹線道路において、LED道路照明灯により新設・更新を行う。</u>												
(平成27年度新設・更新予定数) <table border="1"><thead><tr><th></th><th>新設</th><th>更新</th></tr></thead><tbody><tr><td>蛍光灯</td><td>800灯</td><td>19,870灯</td></tr><tr><td>水銀灯</td><td>50灯</td><td>9,110灯</td></tr></tbody></table>					新設	更新	蛍光灯	800灯	19,870灯	水銀灯	50灯	9,110灯
	新設	更新										
蛍光灯	800灯	19,870灯										
水銀灯	50灯	9,110灯										
<b>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</b>												

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	ICTを活用した市民協働による公共土木施設の維持管理(京の道・川・公園サポーター制度)					
予 算 額	23, 800千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	新規 政策的新規充実予算枠			
担 当 課	土木管理部 土木管理課 (222-3568)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 本市では、道路・河川・公園等の公共土木施設を適切に維持管理するため、土木事務所やみどり管理事務所の職員が日々パトロールを行っているが、公共土木施設をより一層適切に管理し、多様化する市民ニーズに対応するには、市民からの情報を的確に把握する必要がある。						
<b>[事業概要]</b> 市民協働による公共土木施設の維持管理を進めるため、スマートフォン等のICT(情報通信技術)を用いた市民通報システムを新たに開発する。 これにより、市民が道路、河川及び公園の異常を発見された場合、簡単に通報できるシステムを構築する。 また、公共土木施設への理解を深めていただくため、維持管理作業への市民参加を進める取組を合わせて実施する。 平成27年度は、システムの構築及びモニターによる実証実験を行う。						
<b>[参考(他都市の状況・事業効果など)]</b> 市民通報システムの活用を行っている他都市の事例 ○千葉市「ちばレポ」 ○半田市「マイレポはんだ」						

# ICTを活用した市民協働による公共土木施設の維持管理 「京の道・川・公園サポート制度」

建設局土木管理部土木管理課

普及が進むスマートフォン等のICTを活用し、京都市民の市民力と地域力を最大限に活用した、公共土木施設の維持管理システムを構築し、安心安全なまちづくりを目指す。



## ■スマートフォンを活用した市民通報システムの構築

普及が進むスマートフォンを活用し、市民の皆様がより使いやすい通報システムを構築・運用します。また、システムの導入により、投稿情報や処理内容を適宜共有することができます。



## ■市民の自主的な取組のサポート

市民の皆様が取り組む自主的な活動をサポートします。また、維持管理に対する理解や興味の深まりを自主的な活動につなげ、拡充を図ります。

- 【例】ボランティア袋の配布
- 収集ゴミの回収
- 用具貸し出し



## ICTの活用 情報の共有

## 安心安全なまちづくり

## 市民協働による 公共土木施設の維持管理

## 自活動の支援 自活動の拡充

## コミュニケーションの促進 PRの継続

## ■市民と行政が共同で取組を実施

維持管理を協働で進めていくための「学び・実践」を市民と行政とが一緒に実行します。

また、ICTのシステム利用者にサポート登録いただき、サポートの「育成・体制整備」等、制度構築を進めます。

- 【例】「まちサポ講座（仮称）」の実施
- 道路パトロールの実施
- 道路サポート制度の構築



## ■コミュニケーションの促進 PRの継続

日常業務や各種イベント参加を通して、市民と行政がより一層コミュニケーションが図れるような取組を進めます。

また、土木事務所のPRも継続的に行います。

- 【例】市民応対力意識の向上
- 各区ふれあい祭りの参加
- SNSを活用したPR



## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	横断歩道橋撤去					
予 算 額	98,000千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	新規 政策的新規充実予算枠			
担 当 課	土木管理部 土木管理課(222-3568)					
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>本市が管理している40橋の横断歩道橋は、その多くが高度経済成長期に整備されたものであり、平成25年度に全橋の点検を実施した結果、経年による老朽化が進み、景観上の課題も生じている。</p>						
<p>[事業概要]</p> <p>老朽化し、利用されていない横断歩道橋（成逸歩道橋、堀川高校前歩道橋、宝ヶ池歩道橋）について、撤去する。</p> <p>横断歩道橋（陶化歩道橋、西陣歩道橋、新宮歩道橋）について、平成28年度の撤去に向けて、測量・詳細設計を行う。</p>						
<p>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</p>						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	生活道路の舗装補修の充実					
予 算 額	245, 000千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	継続 局配分枠			
担 当 課	土木管理部 土木管理課(222-3568)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 本市では、生活道路の安全性を維持するために、道路パトロール及び、市民からの通報を受けて、年間約3,500件の補修対応などを実施している。しかし、道路の経年劣化が進み、対策が必要な箇所は増加し、また、予算の制約上、本来、抜本的な対策が必要な箇所においても、応急的な対策を実施せざるを得ない状況であることから、生活道路の安全性に課題が生じている。						
<b>[事業概要]</b> 舗装補修に係る予算を拡充（前年度から1億円増）することで、抜本的な対策の実施や未対策箇所を減らすなど、舗装補修を促進し、市民生活の安心・安全の確保を図る。						
<b>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</b>						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 河川維持補修 浚渫・除草等の充実(普通河川・都市基盤河川)					
予 算 額	222,934千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	継続 局配分枠			
担 当 課	土木管理部 土木管理課(222-3568) 土木管理部 河川整備課(222-3591)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>						
平成24年8月に宇治市等で発生した浸水被害を受け、平成24年度に、河川浸水対策緊急事業により39河川において、浚渫・除草等を実施した。 その後の台風や集中豪雨の際に浸水被害は発生していないが、2箇年が経過した現在、28河川については、再度、対策が必要な状況となっている。 また、平成25年度には、過去に浸水被害が生じ、または、今後生じるおそれのある79河川を対象として、過去の浸水被害や土木事務所などの調査結果に基づき、維持管理計画を策定している。						
<b>[事業概要]</b>						
維持管理計画に基づき、対策が必要な28河川を含む54河川について、浚渫・除草等を実施し、本来の流下能力の回復を図ることで、浸水被害を予防する。						
(参考) <平成27年度に浚渫・除草等を実施する主な河川> 西羽束師川、善峰川、日野川他						
<b>[参考 (他都市の状況・事業効果など) ]</b>						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト いのちを守る橋りょう健全化プログラムの推進 (橋りょうの耐震補強・老朽化修繕)					
予 算 額	4,087,322 千円	新規・継続の別 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small>	継続 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠</small>			
担 当 課	土木管理課 橋りょう健全化推進課(222-3561) 道路建設部 道路建設課(222-3577)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 東日本大震災の被災を踏まえ、災害時における避難ルート及び救急車両等の通行確保に向けた橋りょうの耐震補強のスピードアップは喫緊の課題である。 平成23年12月に策定した「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づき、耐震補強と老朽化修繕を効率的・効果的に推進している。 第1期プログラムでは、24~28年度の5年間に「耐震補強17橋、老朽化修繕34橋の対策を完了させる」という目標に対して、これまでに13橋(耐震補強2橋、老朽化修繕11橋)の対策が完了している。						
<b>[事業概要]</b> 27年度においても、災害時における都市機能の確保を図るとともに、平常時においても市民生活を守るために、橋りょうの重要性及び緊急性を考慮して重点化を図りながら、耐震補修・老朽化修繕を実施する。						
<b>実施箇所</b> <u>耐震補強 12橋 (九条跨線橋、羽束師橋など)</u> <u>老朽化修繕 13橋 (二条大橋、菊屋橋など)</u>						
<b>[参考 (他都市の状況・事業効果など)]</b>						

# 「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」進捗状況

(平成27年1月末現在)



「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」（第1期プログラム）では、

平成28年度までに、優先度の高い

**「耐震補強」  
「老朽化修繕」**

平成28年度末までに完了させる橋りょうの  
現在の実施状況（老朽化修繕）

の対策完了を目指します！！

## 進捗状況

51橋全ての対策に着手しました！（平成26年1月末達成）

**対策実施中の橋りょう**  
**対策完了した橋りょう**

**合計**  
19橋  
19橋  
13橋

**完了率**  
**25%**

**51橋**  
工事  
設計

平成28年度末までに完了させる橋りょうの  
現在の実施状況（耐震補強）

**「耐震補強」**

17橋のうち、  
2橋の対策を完了しました。

**対策実施中**  
**設計**  
**工事**  
**完了率**  
**12%**

6橋  
9橋

12%  
6橋  
9橋

平成28年度末までに完了させる橋りょうの  
現在の実施状況（耐震補強）

**「老朽化修繕」**

34橋のうち、  
11橋の対策を完了しました。

**対策実施中**  
**設計**  
**工事**  
**完了率**  
**32%**

13橋  
10橋

区名	橋りょう名	主な所在地	路線名	現在の状況
北区	中の町橋	北区中原中ノ町	匝道162号	工事
左京区	大鷹3号橋	左京区岩倉大鷹町	上高野川支線	設計
左京区	鶴花橋	左京区花島大市郷町	匝道477号	完了
左京区	川岸橋	左京区山原川岸町	匝道367号	設計
左京区	熊野橋	左京区聖護院通単純橋	熊野通	
左京区	光西口橋	左京区広川見舞院町	又多尾川支線	完了
左京区	御所谷橋	左京区岩倉御所谷町	吉曾2号橋	完了
左京区	地藏寺橋	左京区鰐堀本町	—	完了
左京区	鶴谷橋	左京区八瀬花尻町	匝道367号	工事
左京区	寺寺橋	左京区大原戸寺町	匝道367号	完了
中京区	三絆橋	中京区西ノ京新連町	舟部園林橋	設計
中京区	瓦斯川泄池橋	中京区下丸里町	一奈摩面櫻山ニ永源	完了
東山区	二条大橋	中京区梓井町	二条通	設計
東山区	篠屋橋	東山区石清水町	四ノ塙口ツ風爐	設計
山科区	四ノ宮高架橋	山科区四ノ宮山	四ノ塙口ツ風爐	完了
山科区	鳴岩橋	山科区大瀬高岩	山科六条線17号線	完了
山科区	天神湾	山科区大瀬大岩	山科大原線30号線	完了
山科区	塊辻3号橋	山科区櫛土東裏	大宅西野山原く1:	設計
南区	上原羽橋	南区上原郡川端町	中山桜前橋	
石京区	堂の橋	石京区京北上弓削町	匝道162号	工事
石京区	鶴野谷橋	石京区京北鶴野町	匝道162号	設計
石京区	富ノ辻橋	石京区京北辺野町	匝道162号	完了
石京区	—(無名)	石京区京北上弓削町	匝道162号	完了
石京区	八幡橋	石京区梅ケ畠ノ町	匝道162号	工事
伏見区	地田橋	伏見区鶴見出町	伏見区鶴見出町	完了
伏見区	越前橋	伏見区越前町	青六の通	設計
伏見区	豊勝橋	伏見区豊勝町	木根坂通	設計
伏見区	京川橋	伏見区中郷河原町	伏見戸日解	工事
伏見区	朝臣橋	伏見区余野出町	京郷通1-4号線(1)	工事
伏見区	引川橋	伏見区深津神樂町	中山桜前橋	工事
伏見区	丹波橋	伏見区丹波東町	丹波橋通(1)	工事
伏見区	土溝	伏見区土溝町	伏見区土溝町	工事
伏見区	蓬莱橋	伏見区西長町	納田通	工事
伏見区	南箕浦木五号橋	伏見区竹田東小野ノ内町	新坂南宮通	設計

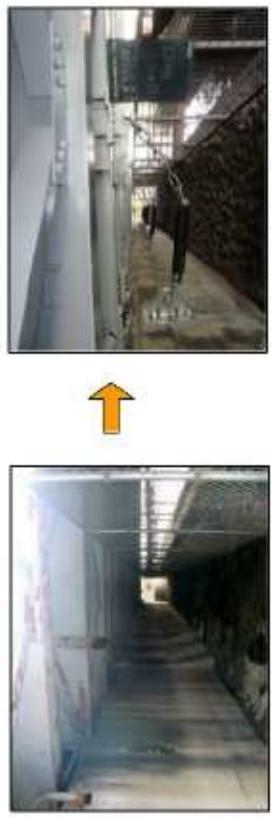
※各所轄は設計を行った事。放送注目と記載しているところは、放送注目を行ったため、工事を行方に完了しております。

## 工事事例

### ◎「耐震補強」

御池大橋

中京区上櫻木町にある鴨川をまたぐ橋りょう



↑ 滲漏防止装置を取り付けました。

### ◎「老朽化修繕」

上鳥羽橋

南区上鳥羽川端町にある西高瀬川をまたぐ橋りょう



↑ 滲漏防止装置を取り付けました。



↑ 柵を取替え、柵を塗替えました。

九条跨線橋

鴨川、疏水、JR奈良線、京阪本線、市道をまたぐ長大橋



橋脚

↑ 一部の橋脚を鋼板で補強しました。



↑ 柵を取替えました。

## 設計事例

山端跨線橋



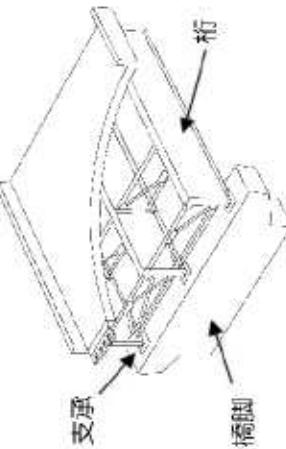
↑ 耐震補強等の設計をしています。

荒神橋



↑ 老朽化修繕等の設計をしています。

- ・橋りょうの部材の名称



## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 排水機場耐震改修					
予 算 額	23,900 千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	継続 政策的新規充実予算枠			
担 当 課	土木管理部 河川整備課（222-3591）					
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>東日本大震災や近年多発する局地的集中豪雨等での被害を踏まえ、公共土木施設の防災・減災対策について、迅速かつ効果的に取組を進めている。</p> <p>取組に当たっては、「いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト」として、排水機場の耐震改修を重点的に推進し、災害に強いまちづくりの取組を強化している。</p>						
<p>[事業概要]</p> <p>建設局が所管する排水機場の耐震診断結果に基づき、排水機場について耐震改修を実施する。</p>						
<p><u>平成27年度 三栖排水機場 耐震改修工事</u></p>						
<p>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</p>						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 排水機場集中監視システム整備					
予 算 額	635,000 千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	新規 局配分枠			
担 当 課	土木管理部 河川整備課 (222-3591)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 建設局が管理する主要10排水機場については、現地に行かなければポンプ等の稼働状況を把握できない状況である。 平成25年の台風18号の際に発生した小栗栖排水機場周辺の浸水被害を踏まえ、再発防止と更なる安全性の向上を図る必要がある。						
<b>[事業概要]</b> 主要10排水機場におけるポンプ稼働状況や水位情報等を、集中管理センターで一元的に把握できる集中監視システムを整備することにより、近年多発する局地的集中豪雨などによる、急激な水位上昇等の突発的な状況に的確に対応していく。  (主要10排水機場) 新美豆排水機場、洛南排水機場、三栖排水機場、泰長老排水機場 小栗栖排水機場、淀排水機場、納所排水機場、西羽東師排水機場 洲崎排水機場、新川排水機場						
<b>[参考(他都市の状況・事業効果など)]</b> ○機器に故障や異常があった場合は、端末画面に異常箇所や異常内容が自動で表示されるとともに、警報で知らせることができるため、万が一、人為的なミスが発生し、ポンプが停止した場合でも、即座に状況を察知し、対応が可能となることから、更なる安全性の向上を図ることができる。 ○他都市の導入実績（東京都、名古屋市、神戸市、福岡市）						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

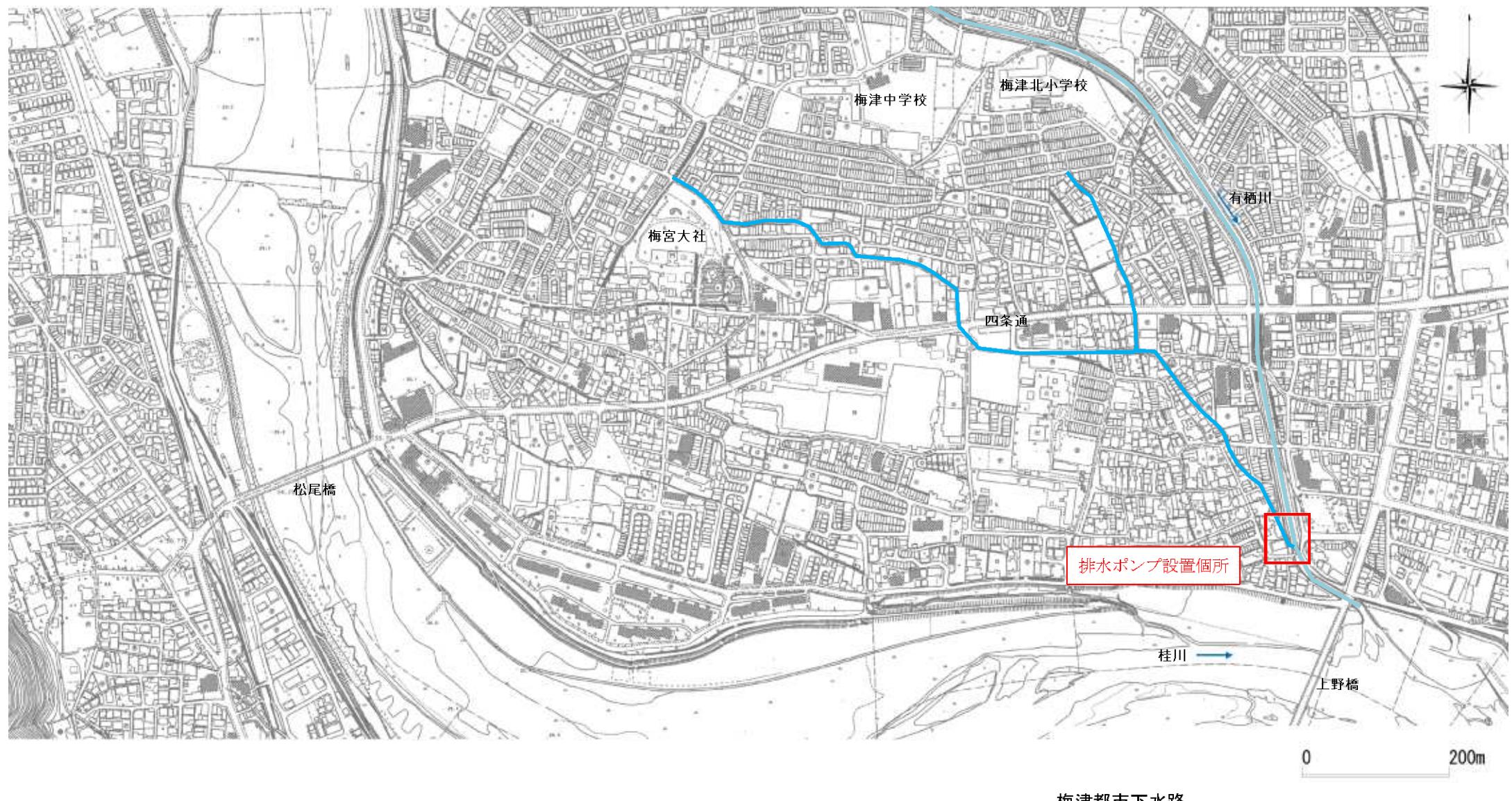
事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 普通河川緊急対策事業					
予 算 額	321,700 千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	継続 政策的新規充実予算枠			
担 当 課	土木管理部 河川整備課（222-3591）					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 京都市が管理する普通河川は、河川の抱える流域が狭く、降った雨が短時間で河川に流れ込む傾向にあるため、特に、短期間の局地的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）によって増水する危険性があり、河川改修等による浸水対策の実施は喫緊の課題となっている。 しかしながら、河川改修は、多額の費用と時間を要し、上流部の改修の影響で下流が氾濫することがないよう下流側から順次整備を進める必要があるため、事業期間が長期に及ぶ。 このような中、平成24年8月に宇治市等で発生した浸水被害を受け、浚渫、護岸補修等の浸水予防緊急対策を実施するとともに、過去30年間に浸水被害が発生した河川のうち、まだ本格的な対策に着手できていない8つの河川を対象に治水安全度調査を行い、河川ごとの特性を踏まえた整備方針を定めた、「普通河川整備プログラム」を平成25年10月に策定した。						
<b>[事業概要]</b> 本事業は、「普通河川整備プログラム」に基づき、治水安全度の向上を図る工事や、河川改修等に向けた設計等を行う。 (平成27年度実施内容) 護岸改修工事等・・・竹田川 設計等業務委託・・・泉川、西ノ川、千代原川  (上記以外の河川の状況) 改修工事中・・・宇多川支川、荒木川、谷田川 設計等準備中・・・奥殿川						
<b>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</b>						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 有栖川下流右岸流域浸水対策事業					
予 算 額	136,000 千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	新規 局配分枠等			
担 当 課	土木管理部 河川整備課（222-3591）					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 平成25年の台風18号の大雨により、有栖川下流右岸流域の梅津地域を流れる梅津都市下水路等が溢れ、広範囲にわたり浸水被害が発生した。 これを受け、周辺地域の水路断面や構造等の調査・測量、大雨時の水路の流下状況等の現地調査を実施し、同様の気象状況が発生した場合でも浸水を防ぐための対策案の検討を行った。						
<b>[事業概要]</b> 測量や現地調査の結果を踏まえ、抜本的な対策として、有栖川との合流地点に排水ポンプ施設（1.0m <sup>3</sup> /s）を新設する。						
<b>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</b> 平成27年9月から稼動予定						

## 梅津都市下水路 位置図



梅津都市下水路

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	新たな自転車政策の推進					
予 算 額	435, 550千円	新規・継続の別	新規・継続			
担当課	自転車政策推進室 (222-3565)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>						
本市では、 ① 現行計画に基づき取り組んできた放置自転車対策が大きく前進する一方、走行空間の整備やルール・マナーの遵守については取組が不十分な状況にあり、一定の課題が浮き彫りになってきていること ② 平成25年度の道路交通法の改正など、自転車を取り巻く環境が変化しており、東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、新たな自転車政策の推進が期待されていること から、「改訂京都市自転車総合計画」の見直しに取り組んでいる。 平成26年度中に見直し予定である計画に基づき、平成27年度以降、自転車の「みえる化」をキーワードに、走行環境、ルール・マナー、放置自転車対策などの施策を市民協働で推進する。						
<b>[事業概要]</b> 新たな施策として、路面表示（ピクトグラム）等の整備を中心とした走行環境整備ガイドラインの策定や自転車走行のルール・マナーの周知徹底等に取り組む。 同時に、さらなる撤去の強化をはじめとする放置自転車対策や、市役所前広場における機械式地下自転車駐車場の整備などを進める。						
◎ 新・自転車政策（仮称）推進事業 37,000千円 京都の特性を踏まえた自転車の走行環境整備ガイドラインの策定や、市バス背面を活用した自転車走行のルール・マナーの周知等に取り組む。						
◎ 放置自転車対策 201,250千円 これまで取り組んできた放置自転車対策を引き続き推進すると同時に、現在の放置状況や市民ニーズを踏まえ、撤去強化区域を拡大する。						
◎ 市役所前広場における機械式地下自転車駐車場の整備（平成27年度完成予定） 197,300千円						
<b>[参考]</b>						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	JR嵯峨野線 京都・丹波口間新駅設置に伴う周辺整備事業					
予 算 額	30,000千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	新規 政策的新規充実予算枠			
担 当 課	道路建設部 道路建設課 (222-3577)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> JR嵯峨野線 京都・丹波口間新駅（以下「新駅」という。）については、京都駅西部エリアの活性化を図るために、地元等からの要望を受け、本市とJR西日本において検討し、事業の実施期間や概算事業費等の基本的事項がまとまったことから、平成27年2月2日に、本市とJR西日本において新駅設置に関する基本合意書を締結した。						
<b>[事業概要]</b> 新駅の利便性を図るために必要となる駅周辺施設の整備としては、七条通を横断する歩道橋の整備、梅小路公園再整備等がある。 <u>平成27年度は、駅周辺施設整備に向けて、調査・測量等を実施する。</u> 新駅については、平成28年度に工事に着手し、平成31年春の開業を目指している。						
<b>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</b>						

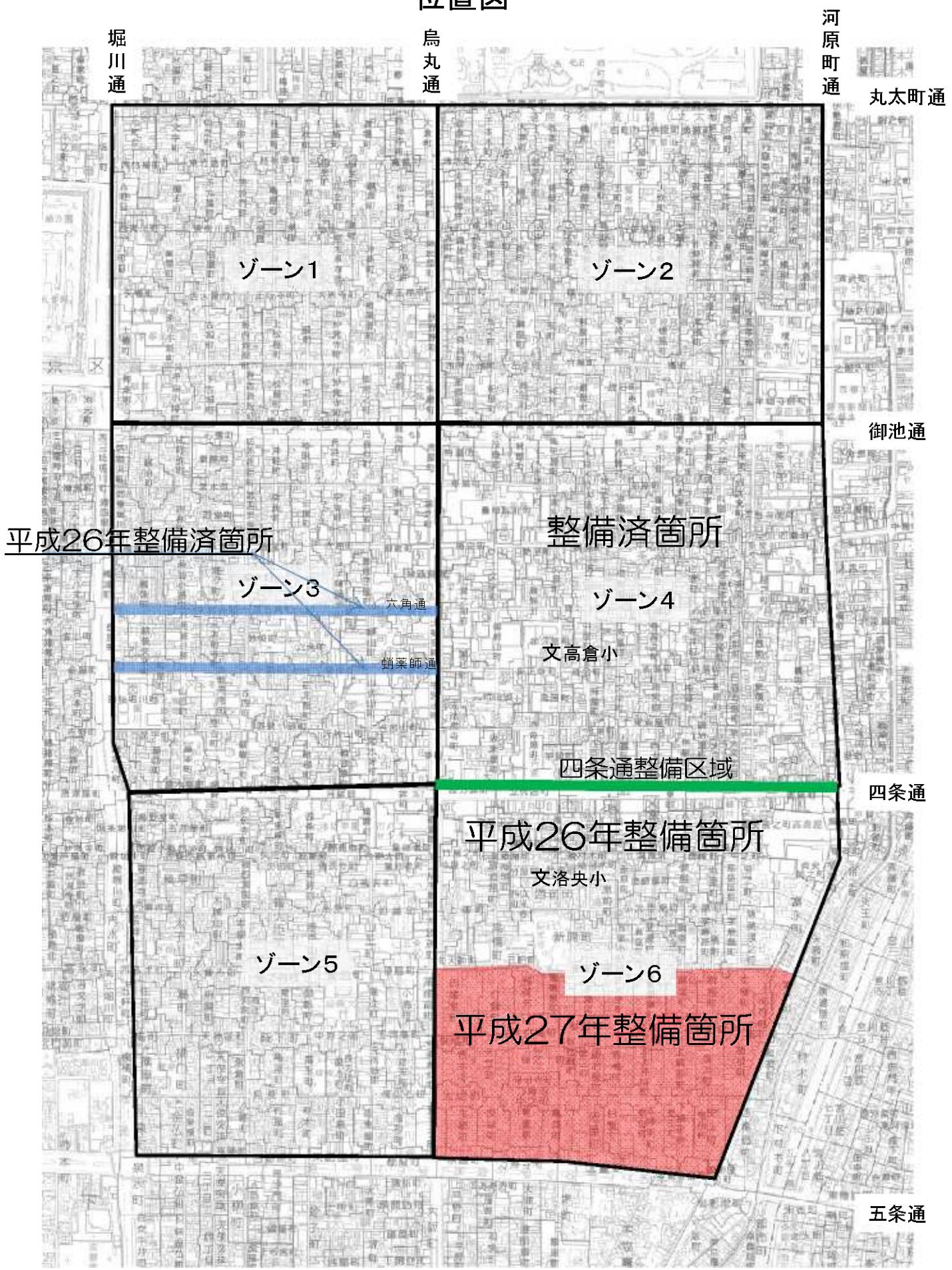
## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	歩いて楽しいまちなみゾーンの推進					
予 算 額	33, 530千円	新規・継続の別	継続			
担 当 課	道路建設部 道路環境整備課(222-3570)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 歩道整備が困難な都心部の細街路においては、カラーラインや看板の設置等により、自動車走行速度の低減等を促し、安全な歩行空間の確保を図っている。 平成25年度からは、特に交通量が多い地区を優先して整備を進めており、整備が完了した地区では、自動車の速度低減等に一定の効果が認められている。						
<b>[事業概要]</b> <u>平成27年度は、四条通の歩道拡幅事業による車線減少に伴う、周辺細街路への流入交通量の増加対策として、四条通（烏丸通一河原町通）の南側地区において、カラーラインや看板等の整備を進める。</u> この地区は、平成26年度事業において、四条通以南から高辻通までのゾーンの整備に取り組んでいるところであり、平成27年度は、更にその整備範囲を拡大し、高辻通以南から五条通までの整備を完了させ、交通量の増加に対して、ゾーン全体で面的効果を発揮させ、安全な歩行空間の実現を図る。						
<b>平成27年度 整備範囲</b> <u>高辻通、河原町通、五条通、烏丸通に囲まれたゾーン</u>						
<b>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</b>						

# 歩いて楽しいまちなかゾーンの推進

## 位置図



## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

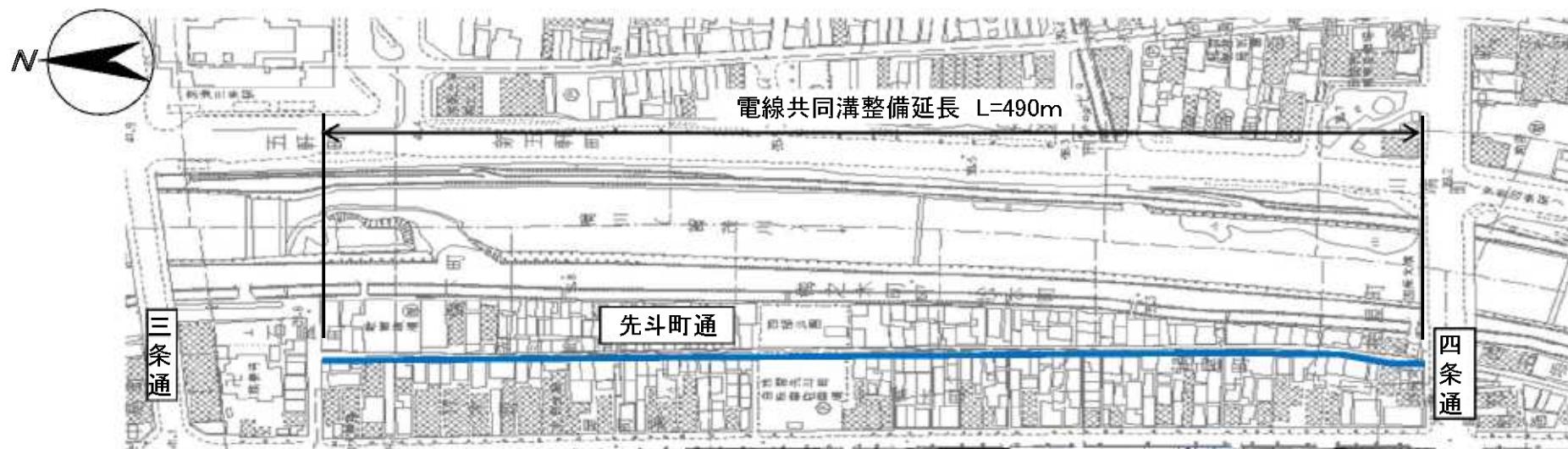
建設局

事務事業名	無電柱化事業(先斗町通)他					
予 算 額	18, 400千円	新規・継続の別	新規			
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠			
担 当 課	道路建設部 道路環境整備課(222-3570)					
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>本市では、「安全で快適な歩行空間の確保」や「都市景観の向上」、「都市災害の防止」などを目的として、幹線道路をはじめ、景観の保全・再生が必要な地域において無電柱化を推進しており、国においても、東京五輪開催決定を契機に無電柱化推進に向けた動きが加速している。</p>						
<p>[事業概要]</p> <p>先斗町は、五花街のうちの一つで、茶屋様式の伝統的建造物が連坦する町並みは、京都を代表する景観であるとともに、本市有数の観光地として多くの観光客で賑わっている。</p> <p>本事業は、こうした地域の中心を南北に貫く先斗町通において、景観を阻害している電線類を取り除くことにより、歴史都市京都にふさわしい景観の保全に資するとともに、地域・観光の活性化などを図るものである。</p> <p>平成27年度は、電線類管理者と協議・調整を行い、無電柱化に向けた課題の抽出やその解決に向けた手法を検討のうえ、早期の無電柱化工事着手を目指して電線共同溝詳細設計を行う。</p> <p>また、無電柱化事業をさらに推進するため、国の新たな整備手法に係る技術的検証の動向を踏まえ、低コスト化に向けた新たな方式について調査・研究を行う。</p>						
<p>[参考(他都市の状況・事業効果など)]</p>						

路 線 名

一般市道 先斗町通

箇 所 図



整備区間中間地点(先斗町公園付近)から北を望む



四条通から北を望む

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	円山公園適正化事業					
予 算 額	5, 000千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	新規 政策的新規充実予算枠			
担 当 課	みどり政策推進室(741－8600)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 京都市の貴重な文化遺産である名勝円山公園は、開園から129年が経過し、施設が老朽化するなど、名勝地及び観光地として様々な課題が生じている。平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピック等の開催により増加が予想される観光客を「おもてなし」するためにも、名勝円山公園保存管理計画を策定し、開園130周年となる平成28年度から再整備（修復）を予定している。それに合わせて、園内施設の適正化を進めるとともに、老朽化した施設の建替えや新たな賑わい施設の設置等の設置を促進する。						
<b>[事業概要]</b> 老朽化した施設の建替え基準など、将来にわたる適正な管理の基本的事項を定める「（仮称）円山公園条例」制定に向けた検討を行うため、園内施設について、建築物に詳しいコンサルタント等の専門家に建築面積や建築物の構造等の調査を委託し、その結果に基づいて関係施設への指導や協議を行う。						
<b>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</b>						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	花と緑あふれるまちづくり～緑視環境向上プロジェクト～					
予 算 額	566, 336千円	新規・継続の別	継続			
担 当 課	みどり政策推進室(741-8600)					
[事業実施に至る経過・背景など]						
本市では、平成22年3月に策定した「京都市緑の基本計画」を推進するため、「緑視環境の向上」を重点テーマに、次の事業に取り組んでいる。						
[事業概要]						
○紅葉景観創造事業（平成27年度予算額 62, 300千円） 西大路通において、紅葉街路樹に植え替える。						
○街路樹整備事業～花の道づくり～（平成27年度予算額 142, 900千円） 三条通、外環状線、国道162号、桂川街道、十条通において、花木の植栽を行う。						
○街路樹整備事業～道路の森づくり～（平成27年度予算額 213, 600千円） 北大路通、今出川通、東大路通、九条通において、中央分離帯に高木の植栽を行う。						
○ケヤキ並木保全・創造プロジェクト（平成27年度予算額 80, 700千円） 平成25年度に実施した樹勢診断調査結果に基づき、白川通などにおいて、樹勢回復や老朽化したケヤキの更新（植替え）などをを行う。						
○桜景観創造プロジェクト（平成27年度予算額 47, 200千円） 平成26年度に実施した外観診断調査及び精密診断調査の結果に基づき、白川疏水通などでサクラの更新を行う。						
○市民公募型緑化推進事業（平成27年度予算額 19, 636千円） 平成25年度に行った市民意見公募の結果を基に、緑化整備工事を行う。						
[参考（他都市の状況・事業効果など）]						

## 平成27年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	LED公園照明灯の設置(更新)					
予 算 額	106, 000千円	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	新規 政策的新規充実予算枠			
担 当 課	みどり政策推進室(741－8600)					
<b>[事業実施に至る経過・背景など]</b> 建設局所管の都市公園内に設置されている照明灯について、省エネによる低炭素化及び維持管理経費のコスト縮減を図るため、水銀灯及び蛍光灯のLED照明灯への転換を進めている。						
<b>[事業概要]</b> 公園内のすべての水銀灯(250W, 100W)及び蛍光灯(約3,000灯)について、今後3年間(平成27年度～29年度)でLED照明灯に転換するとともに、防犯上必要な箇所については、転換時に照度アップに取り組む。						
<b>[参考(他都市の状況・事業効果など)]</b> 他政令指定都市では、札幌市、横浜市、大阪市等の複数の都市で導入実績がある。						